

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化・終末期に個々のニーズにお応えできる幅広い支援ができるよう考えているが、経験も少ない。重度化や終末期における知識を得、同じ思いを持ち、今後につなげていく。	これまで、看取りの経験がない為、スタッフ一人一人が、思いや意識を一つにできるよう勉強会を行ったり、重度化や終末期における対応方針を明確にする。	勉強会を行い終末期の知識を高める。介護の知識も高めていく。 職員全員で話し合いを行い、手順をマニュアル化し、職員間で共有できるようにしていく。	3ヶ月
2	27	ケアの実践についての記録はなされているが、結果、気づきの記録については、職員格差があり、介護計画の見直しに活用できているとは言えない部分もある。	職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしていけるようにする。	一人一人のケアプランを把握し、日常生活での気づきがあった場合は、スタッフ間で声を掛け合い報告し、記録に残す。 職員格差がなくなるように、記録の必要性や、記録の書き方の勉強会を行う。	2ヶ月
3	18	暮らしを共にする者同士の関係は、築けてきているが、認識に差がある。	「生活の主体者はご利用者」という視点で、職員全員が関係を築けるよう関わっていく。	ご利用者の生活歴を知り、個別の支援に努め日々を、その人らしく生活して頂けるよう、職員全員で話し合い、今後の実践につなげていく。 又、自分達(スタッフ)のペースで動かない支援が実行できる様に認知症の実践についての研修会を行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。